



秋田は魅力がないのか？

校長 佐々木 律 成

本県の人口は、来年半ばに100万人を割るようだ。ピークの1956年は135万人だったので、60年間で秋田市1つ分以上の人口減だ。東北では本県だけ人口100万人を割る。



秋田は何もない、魅力がない、だから県外に出るしかないのか？いや、出て行く人がいる一方で、田舎の良さを求めてやって来る人がいる。

都会暮らしだが、借りている畑を耕すため週末に田舎に通う人がいる。過疎地の空き家を世話してもらい、そこに居を移し、インターネットを使って今までの仕事を続ける人がいる。「秋田の資源を磨いて資産にしたい」という意気込みで「起業」し、果物・日本酒のセット商品を開発し、「ドチャベン」（土着のベンチャー企業）事業で金賞を受賞した、東京から秋田に移住した若い女性がいる。

200年前、フランスのゴンクール兄弟は「田舎では雨が気晴らしになる」と安堵した。

豊かな自然は、人間味豊かな文化を育ててきた。「国民文化祭あきた2014」以来、秋田の文化の再認識・再発見が進んでいる。

新高生には、郷土に根を張り、地域文化を継承しながら社会に貢献できる人材に成長してほしいと願う。

～ 地 域 懇 談 会 ～

8月26日(金)、新屋扇町「工藤旅館」において、地域懇談会が開催されました。

学校後援会、学校評議員、PTAの代表、学校近隣の各町内会長の皆様にご参集いただきました。地域関係者の皆様からは、登校マナーや挨拶、地域奉仕活動などに関して貴重なご意見をいただきました。

近隣町内の皆様方の新屋高校への関心は高く、本校の活躍に期待して常に応援していただいているお気持ちを感じました。今後も、これまで以上に地域との連携を図りたいと思います。

納得する進路実現を目指して

3学年主任 三浦 朋子

3年生はいよいよ進路実現に向けてチャレンジをする時となりました。9月16日には就職試験も始まりました。努力が実り、県内外のさまざまな企業から内定をいただき結果は良好です。進学に関してはこれからが本格的な試験となります。進路希望が多岐にわたることが新屋高校の特徴でもあります。希望する進路により試験の時期もさまざまです。一番遅い場合は3月末まで続きます。進路実現において一番大切なのは、いかに早く進路実現するかではなく、どれだけ粘り強く自分の納得する進路を達成するかということです。それぞれ試験の 때가違いますが、落ち着いた環境の中で勉強に集中し、試験では全力を発揮することができることを願っています。3年間ともに過ごしてきた仲間が自分の納得する進路に向けて、3月には新屋高校を巣立っていくことができる



よう、進路が決まった人もこれからの人も全員が高校最後の6カ月緊張感を持って過ごすことを期待しています。



— オープンスクール —

7月28日(木)に中学校3年生および保護者・引率者を合わせた427名に参加いただき、オープンスクール(中学生等体験入学)を開催しました。

全体会のなかでは、吹奏楽部による「ミニコンサート」や弓道部の「行射」、生徒会執行部によるプレゼンテーション「新高生の一年」等で、在校生が参加者に直接紹介し、御好評をいただきました。全体会の後には、12の教室において体験授業を行い、参加した中学生から「高校の難しい授業内容だったが説明がわかりやすかった」「苦手科目だったが楽しく学べた」「ますます入学したいという気持ちが強くなった」等といった嬉しい感想が多く寄せられました。

閉会式後に、部活動の自由見学の時間もあり、運動部・文化部を多くの中学生が見学し、盛況のうちに終わることができました。

薬物乱用防止教室

10月6日(木)、学校薬剤師の柴田隆氏を講師にお迎えし、薬物乱用防止教室が開かれました。講演では医療用医薬品においても、不適切な



使用方法をすると薬物乱用にあたり、健康被害をもたらすこと。普段使用する医薬品も、説明文をしっかりと読み、適切な使用方法や分量を守ってほしいとお話しされました。

また、危険ドラッグや覚醒剤、大麻など脳へ影響を与える薬物は、たった一度の使用で脳が破壊され、やめたくてもやめられない薬物依存になることを強調されました。そのため、薬物から自分を守るためには、薬物乱用の恐怖を理解し、絶対に薬物に手を出さない、強い意志を持つことが大切であると再確認しました。

～ P T A 校外指導部 通学指導 ～

今年度も8月23日(火)と10月3日(月)の2日間、学校坂下交差点と昇降口前で通学指導が行われ、延べ10名の保護者の方が参加してくださいました。

御指導いただいたP T A校外指導部のみなさん、ありがとうございました。

～ 前期校内研修報告 ～ 研修部

本校では、学校や教職員の課題を解決し学校改善につなげるため、校内研修会を計画的に実施しています。

前期は、4月20日(水)に、「全体研修会」を実施し、中期ビジョン、学校評価、学力向上パートナーシップ、政治的教養の教育年間指導計画などについてワークショップを通じて共通理解を深めました。

7月下旬には、「互見授業」(教員同士が互いの授業を参観)、7月6日(水)には、「教職員の規律について」を実施し、教職員それぞれの力量・実践力の向上に努めています。

～ 生徒会役員 ～

平成28年度生徒会役員選挙が行われ、生徒会役員が決まりました。

生徒会長 近野 怜恵 (2D)
副会長 鎌田 祐綺 (2C)
副会長 田中 美優 (1A)
書記長 一色 瑠菜 (1B)
会計長 阿部 七海 (1C)
事務局長 貴志 洸斗 (2C)

部活動の記録

【 弓道 】

東北高等学校選手権大会
男子団体 第2位
男子個人 第3位 太田弘人
県民体育大会
少年男子団体 第3位
近的男子団体 第1位
近的男子個人 第1位 太田弘人
全国高校総体出場 決勝進出 太田弘人
中央支部新人大会
男子団体 第1位
男子個人 第2位 千田健太

【 剣道 】

全国高校総体出場 横山凌太
市民スポーツ祭
高校男子の部 第3位 新屋高校B

【 サッカー 】

中央支部新人大会 第2位

【 ソフトボール 】

県民体育大会
少年女子 第3位
中央支部新人大会 第3位

【 陸上競技 】

中央支部新人大会
男子フィールド総合 第3位
男子ハンマー投 第1位 四津谷凌太
男子円盤投 第2位 淡路雄一郎
男子砲丸投 第3位 淡路雄一郎

【 バドミントン 】

県民体育大会
少年女子1部複 第2位 佐々木・小形
第3位 今野・滝沢
少年女子1部単 第2位 佐々木ひなの
全国高校総体出場 佐々木ひなの
全日本ジュニア選手権秋田県予選
女子複 第2位 佐々木・小形
第3位 今野・滝沢
第3位 伊藤・辻永
女子単 第1位 佐々木ひなの
(全日本ジュニア選手権出場)

岩手国体出場 バドミントン 佐々木ひなの

【 吹奏楽 】

全日本吹奏楽コンクール中央地区大会 金賞
全日本吹奏楽コンクール秋田県大会 銀賞

【 美術 】

秋田県美術展覧会
入選 デザイン 松渕優蘭、佐々木瑠菜

【 理科研究 】

公益財団法人 斎藤憲三・山崎貞一顕彰会
秋田県におけるセキレイ類の
生態と分布の研究② 研究助成認定

応援よろしくお祈いします

第95回全国高校サッカー選手権大会
秋田県大会
準決勝(対西目高)
10月20日(木) 13:30 八橋陸上競技場
決勝
10月22日(土) 13:05 八橋陸上競技場